

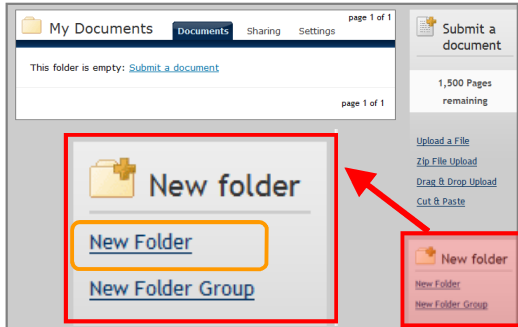
iThenticate クイックスタートガイド

iThenticateはオンライン登録のオリジナリティチェックサービスです。連絡を受けたURLと初期パスワードでログインしてください。迷惑メールに入っている可能性もありますので、ご注意ください。

URL : <http://www.ithenticate.com>

フォルダの作成について

1. 右下の[New Folder]リンクをクリックします。



My Folderを選択して、フォルダ名を御指定ください。
iThenticateは、フォルダ毎の共通設定となります。

- 2.

各設定項目

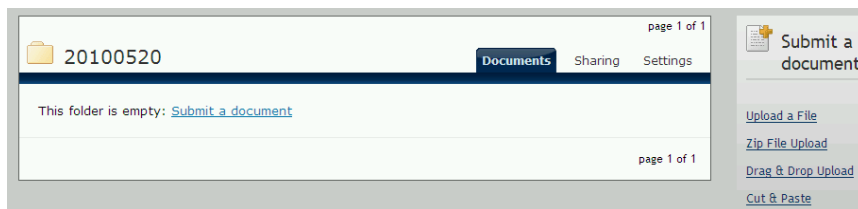
- Exclude quotes : 引用部分を類似のレポートから外す。
- Exclude bibliography : 参考文献を類似のレポートから外す。
- Customize match size : どの程度を類似として評価するか? XX語以内、または、%は、類似でないと判断→レポートから削除
- CrossCheck : ほとんどの学術団体が加盟している学術出版社の集まり。それぞれの会社がデータを持ち寄り、類似の有無をチェックする。
<http://www.crossref.org/crosscheck.html>
- Internet : 過去及び現在のインターネットのコンテンツから類似箇所を検出します。
- Publications : 出版社の出版物から類似箇所の有無を検出します。日本の出版社は、登録していないようです。

3. 各設定項目を設定したら、最下部の **Create** ボタンをクリックします。



論文/レポートのシステム登録

1. 論文/レポートを一つずつ登録する場合は、中央の[Submit a document]リンクをクリックするか、右サイドの[Upload a File]リンクをクリックします。



各アップロード方法

- Zip File Upload : Zipの圧縮ファイルで論文を投稿する場合
- Drag & Drop Upload : コンピュータのフォルダ全部という形での登録 (要JAVA)
- Cut & Paste : コピー&ペーストして登録

2. アップロード設定画面が表示されます。画面下部の参照ボタンをクリックし、ファイルをアップロードします。

各入力項目

- What is the document title : タイトルの入力→後でメニューの画面でタイトル表示のため。登録しない場合、ファイル名がタイトル名となります。
- What is the author's first name : 著者の名前→後でメニューの画面でAuthor名の表示させるため。ブランクでも登録可能。
- What is the author's last name (optional) : 著者の苗字→後でメニューの画面でAuthor名表示させるため。ブランクでも登録可能。

3. [ADD another file]リンクをクリックすると、ファイルを追加することができます。
[Upload]をクリックして、登録した論文をアップロードします。

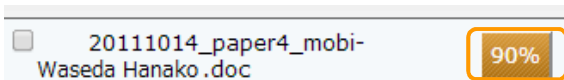
投稿可能なファイルフォーマット

- Word / Word XML
- Text / PostScript
- PDF / HTML
- WordPerfect WPD / RTF

- アップロード可能ファイルサイズ : 40MB
 - Zipファイル場合のアップロード可能ファイルサイズ : 合計 200MB 又は 1000 ファイル
- 画像はチェック対象になりません。また、パスワードで保護されているファイルや、システムファイル、読み取りのみのプロテクションがかかっているファイルなどは iThenticate には投稿及びアップロードはできません。

レポートを見る

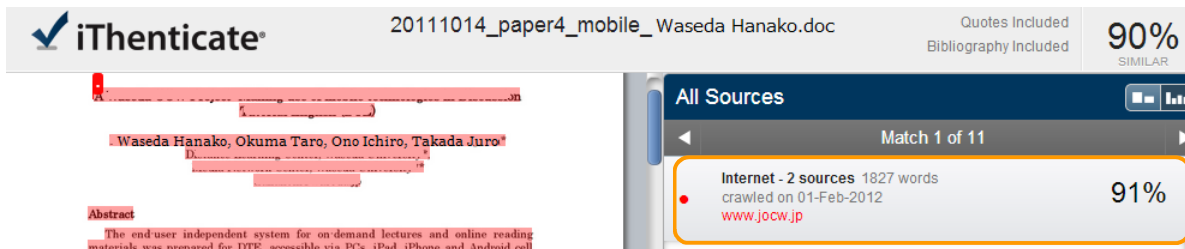
1. 判定結果のレポートを見る場合は、%の表示をクリックしてください。



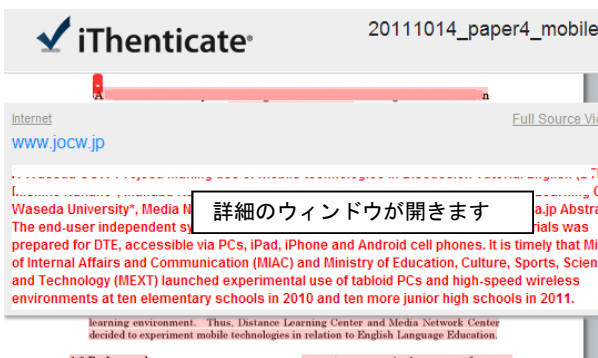
2. Match Overview のモードになるので画面右側のアイコンをクリックし、All Sources を確認できるモードにします。



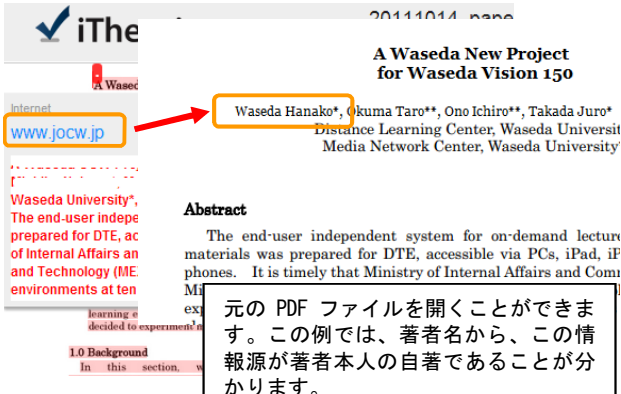
3. どの部分が類似しているのか、明確に表示されます。デフォルト設定では、重複のない類似度合いの高いものから表示します。右側 All Sources 一覧から、詳細を確認したいソースを選択します。



4. 左側画面に、選択した詳細を確認したいソースに関する詳細のウィンドウが開き、原著からどこの箇所まで、類似文書が利用されていたのか、色付きで表示されます。



5. 詳細ウィンドウの左上のリンクをクリックすると、元の情報源が別ウィンドウで開きます。

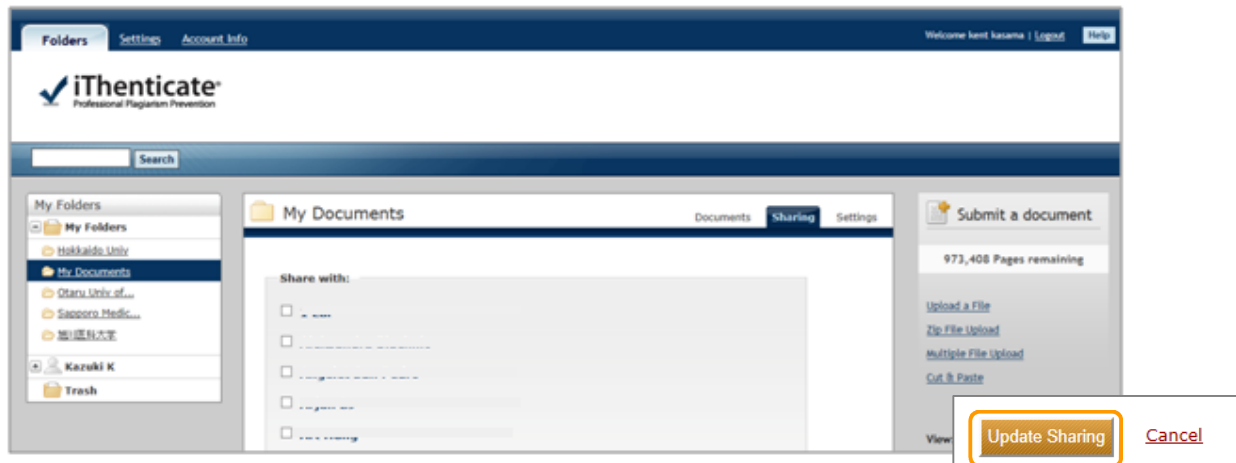


6. All Sources モードで、右側画面の下部にある「Exclude Sources」ボタンをクリックすると、特定のサイトを判定対象から除外することができます。



フォルダの共有

1. 研究グループまたは指導教官とフォルダを共有することができます。[Sharing]タブをクリックすると、iThenticate の登録者が表示されます。共有したい名前にチェックマークをつけて「Update Sharing」ボタンを、クリックしてください。



フォルダの設定について

1. 設定を変更したいフォルダを選択した状態で上部の[Settings]を、クリックします。

Documents Sharing **Settings**

2. [Folder Option]

- 各入力項目
- Exclude Quotes : 引用部分を%から省く
 - Exclude bibliography : 参考文献を%から省く
 - Exclude Phrases : 特別なフレーズを省く
 - Exclude Small Matches : 数語の同じ語の並びについて閾値を設定
 - Exclude Small Sources : 微細な適合を省く

Exclude Sections:

Check to exclude the Abstract from comparison of

Abstract

Check to exclude the Methods and Materials sections from comparison of

Methods and Materials

Limit searches to these repositories:

Documents submitted in this folder will search the

CrossRef

Internet

Publications

- 各入力項目
- Abstract : 抄録を適合から省く
 - Methods and Materials : メソッドや材料を省く

- Limit searches to these repositories :
- 検出対象

- CrossRef : ほとんどの学術団体が加盟している学術出版社の集まり。それぞれの会社がデータを持ち寄り、類似の有無をチェックする。
- Internet : 過去及び現在のインターネットのコンテンツから類似箇所を検出します。
- Publications : 出版社の出版物から類似箇所の有無を検出します。日本の出版社は、登録していないようです。

3. [Report Filters] : フォルダ単位で、特定の URL をカウントしない設定

4. [Phrase Exclusions] : フォルダ単位で、特定の用語を適合から省く機能

- 各 8words 8つのスペースで区切られた文書の塊以上である必要があります。英語(ラテン語系)のみ

全体の設定について

1. iThenticate 全体の設定を変更することができます。上部の[Settings]タブをクリックします。

2. [Settings] : [Reports]

- Eメールの通知設定を行うことができます。

3. [Settings] : [Documents]

- 各入力項目
- Default Document Sort : ドキュメントの並び順を選択することができます。【Processed Date: 提出日時 / Document Title : タイトル / Similarity Score : 類似度 / Document Author : 著者毎】
 - Change Score Color Percentage (required) : 特定の%以上になったら色を変える設定

4. [Settings] : [General]

- 各入力項目
- HomeFolder : ホームフォルダの設定
 - Number of documents to show : 表示可能なドキュメント数
 - After uploading a document : ドキュメントをアップロードした後の動作
 - Display the upload folder : アップロードしたフォルダを表示
 - Upload another document : 別のファイルをアップロード